

## 2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 3 月 11 日作成)

委員会名	合成構造耐震設計小委員会	主 査 名：土井希祐
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (鋼コンクリート合成構造運営委員会)	委員長名：西川孝夫 主 査 名：三谷 勲
設 置 期 間	2001 年 4 月 ~ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	鋼コンクリート合成構造の耐震設計法は、SRC 構造の耐震設計法に準じて運用されることが多いが、合成構造の変形性能は具体的な形で表現されていないので、変形性能をより明確にした耐震設計法の確立をめざす。	
委員構成 (委員名(所属))	主査：土井希祐(新潟大学) 幹事：堺 純一(九州大学) 委員：井手 豊(竹中工務店)・勘坂幸弘(大林組)・称原良一(清水建設)・立花正彦(東京電機大学)・寺本隆幸(東京理科大学)・西田哲也(秋田県立大学)・南 宏一(福山大学)・吉澤幹夫(日建設計)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2003 年度予算	250,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	第 1 回小委員会：2003 年 6 月 24 日・4 名 第 2 回小委員会： 9 月 24 日・4 名 第 3 回小委員会： 11 月 6 日・4 名 第 4 回小委員会： 12 月 17 日・3 名 第 5 回小委員会：2004 年 2 月 12 日・4 名
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)  2002 年度大会において、PD「兵庫県南部地震における SRC 造建物の崩壊原因を探る」を行った。 2003 年度においては、限界耐力計算法、エネルギー法等の性能規定型設計法を鋼コンクリート合成構造に適用する際に必要となる各種変形性能の評価法についての基礎資料の収集と問題点の検討を行った。
	委員会 HP アドレス： <a href="http://www.kobe-u.ac.jp/scs/AIJ-SCCS/index.html">http://www.kobe-u.ac.jp/scs/AIJ-SCCS/index.html</a>
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係)  設置期間 4 年間のうち 3 年を経過し、概ね年次計画を達成したものと考えられる。
その他評価すべき事項	